学校番号	123

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	精選現代文Ｂ　（東京書籍）						
副教材等	三訂版漢字検定５～２級対応常用漢字ダブルクリア（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1 年で学習した内容をさらに発展させ、より深く作品を理解しましょう。
・作品の理解を深めたうえで、意見や考えをことばや文字で表現できる力を養いましょう。
・作品内の語句などの意味を理解し、知識を増やしてゆきましょう

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって，国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育む。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させることができている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	出席状況 取組みの状況 提出物 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述	取組みの状況 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 授業内の発言	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論1 ミロのヴィーナス	○表現上の特徴をふまえながら、筆者の理論構造と主張を理解する。 ○抽象的な単語が本文中でどのように使用され、何をさしているのか考える。	○			◎	○	a:日常的に接するものを、論理的な思考で考察する契機としている。 d:詩人である筆者の感性と着眼点に留意しつつ、表現上の特徴をふまえたうえで、理論構造を理解している。 e:主要な常用漢字の音訓を正しく理解し，正しく書いている。	行動の観察 記述の観察 定期テスト 授業ノート 問題集 発問への反応
	小説1 山月記	○「人間」とは何かについて、考えを深める。 ○漢文的な表現が醸し出す独特の雰囲気を味わう。	○			◎	○	a:主人公の心理を想像するとともに、「人間」とは何かについても考察を深める。 d:様々な意味で用いられる「人間」という言葉をそれぞれ正確に理解している。 e:文中に用いられた漢語を理解する。	行動の観察 記述の観察 定期テスト 授業ノート 問題集 発問への反応
	詩歌 永訣の朝	○詩に親しむ。 ○詩の鑑賞のしかたを学ぶ。 ○想像力を豊かにし、言葉に対する感覚をみがく。	○	◎	○		○	a:言葉にこめられた、作者固有の意味を理解しようとしている。 b:詩独特のリズム・内容に注意しながら朗読できる。 c:詩についての鑑賞文が書ける。 e:詩特有の技法を理解する。	行動の観察 記述の観察 定期テスト 授業ノート 発問への反応
2学期	評論2 相手依存の自己規定	○「日本人の自我の構造」の特色とプラス面・マイナス面について、欧米人と比較して整理する。 ○人称代名詞の使われ方を整理し、その例をもとに述べられた、日本人の自己把握のあり方の特色をまとめる。	○			◎	○	a:「日本人の自我の構造」の特色について理解しようとする。 d:人称代名詞の使われ方の例に即して、日本人の自己表現の特色について読み取り、日本人の自我の構造について、その特徴を理解している。 e:課題に応じて適切な方法で情報を収集している。	行動の観察 記述の観察 定期テスト 授業ノート 問題集 発問への反応

2学期	小説2 こころ	○「私」の心情・思考を読み取り、人間の心や孤独、通じ合うことなどについて考えを深める。 ○場面や時間の推移に注意して構成や展開を把握し、人物の行動や心情を読み取る。	○	○		◎	○	a:小・中学校を通じて過去に読んだ夏目漱石の作品を思い起こし、筆者と作品に関する興味をもち、内容への関心を深めている。 b:「こころ」の内容を踏まえたうえで、「私」と「K」との関係について自分の考えを深め、発展させている。 d:登場人物それぞれの置かれた状況や行動、心情について分析し、自分なりに主題に関する理解を深め、整理している。 e:主要な漢語の二字熟語や同音異義語の意味を理解している。	行動の観察 記述の観察 定期テスト 授業ノート 問題集 発問への反応
	評論3 消費されるスポーツ	○鍵となる表現に注目し、本文を読み取る。 ○「社会」のあり方についての筆者の考え方を読み取る。	○		◎	○	○	a:四つに分かれたそれぞれの部分で「スポーツ」が何と関連づけられているか理解しようとしている。 c:本文の着眼の仕方や発想を参考に、「スポーツ」についての考えたことを文章にまとめている。 d:「スポーツ」についての、筆者の考えを的確に読み取っている。 e:「社会」の概念について理解し、社会や人間についての考えを広げている。	行動の観察 記述の観察 定期テスト 授業ノート 問題集 発問への反応
3学期	小説3 藤野先生	○「藤野先生」についての印象や思いを、それぞれの時期ごとに整理する。 ○「私」の経験と心情の変化に注意しながら、内容を読み取る。	○			◎	○	a:時代背景をふまえて小説を読み、人間の生き方について考えを深めている。 d:「藤野先生」に対する、「私」の思いを的確に読み取っている。 e:魯迅の代表的な作品と時代背景について理解している。	行動の観察 記述の観察 定期テスト 授業ノート 問題集 発問への反応
	評論4 「である」ことと「する」こと	○語句や表現の意味を理解し、文章を正確に把握する。 ○批評の対象となっている出来事や社会現象について知り、筆者の主張を深く理解する。	○			◎	○	a:「近代（化）」の特徴について理解し、社会や人間についての考えを広げている。 d:「である」ことと「する」ことを軸にした、筆者の主張を、的確に読み取っている。 e:抽象的な語句を自分の言葉で解釈する。	行動の観察 記述の観察 定期テスト 授業ノート 問題集 発問への反応

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」

「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。